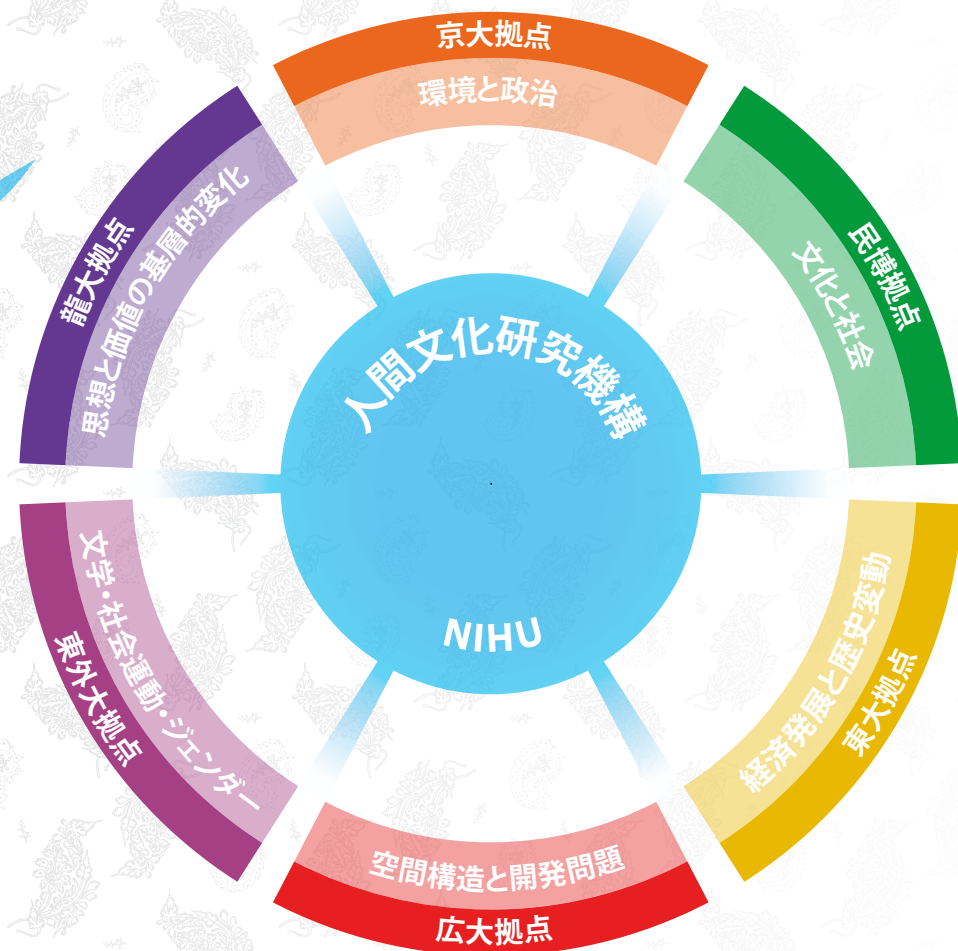


人間文化研究機構 (NIHU) プログラム
現代インド地域研究 組織図



現代インド地域研究 英語ポータルサイト
各研究拠点サイト・南アジア研究情報へのリンク
本冊子の電子データ等掲載
<http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/portal/>

人間文化研究機構 (NIHU) プログラム
現代インド地域研究中心拠点
京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属
現代インド研究センター

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL 075-753-9627 FAX 075-753-9655
URL <http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/>
E-mail indas_office@asafas.kyoto-u.ac.jp



人間文化研究機構 (NIHU) プログラム
現代インド地域研究

人間文化研究機構 地域研究推進事業

INDAS

2015年4月

現代インド地域研究

人間文化研究機構 (NIHU) プログラム

人間文化研究機構「現代インド地域研究」は、現代インド・南アジアの動態を総合的にとらえるとともに将来を展望できるような学術的視点と方法論を確立し、全国的かつ国際的な連携研究が可能になる組織体制と学術環境を整えることを目的として、2010年より、京都大学（中心拠点）、国立民族学博物館、東京大学、広島大学、東京外国語大学、龍谷大学の6拠点を結ぶネットワーク型の共同研究事業として行われてきました。このたび2015年4月から、第1期事業を引き継ぐ形で第2期事業が始まります。

第2期の主な特徴は、次のような点です。第1に、第1期で国内のネットワーク型共同研究体制が一定程度整備されたことを踏まえ、国際的な連携強化により一層力を入れ、海外に積極的に発信し、双方向のコミュニケーションをより活発にすることをめざします。海外の数ある南アジア研究センターとのコンソーシアム構築をめざした活動も開始します。そのため、国立民族学博物館を副中心拠点とし、海外との連携強化を主に担い、中心拠点をサポートする体制をつくります。

第2に、第1期より明示的にインド以外の南アジア諸国、すなわちパキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、ブータン、モルディブを含めた総合的な南アジア研究を推進します。南アジアは、人口や経済規模ではインドの存在が圧倒的に大きいわけですが、南アジアは歴史的にも現代も地域としての強い一体性を保持しており、域内の政治・経済・社会・文化関係はもとより、南アジアと世界との関係もより一層緊密になる中で、南アジア全体を常に視野に収めた研究がますます重要となるでしょう。

第3に、現代インド・南アジア地域の総合的理解をより一層推進しますが、一歩進んで、地域研究者ならではの俯瞰的かつ深い理解をベースにして、現実の問題解決を志向した研究を行います。現代インド・

研究拠点紹介

京都大学拠点 中心拠点



拠点代表
田辺明生

当拠点は、6拠点を結んで行われる共同研究の調整ととりまとめを行うことで中心拠点としての役割を果たします。また大学院アジア・アフリカ地域研究研究科における教育研究活動と有機的な連携を図りながら、南アジア研究の若手研究者育成に貢献します。

こうした目的のため、全体の取りまとめを行う総括班を設置するほか、「南アジアの環境と政治」に関わる2つの研究グループを設置します。研究グループ1「南アジアにおける人口・資源・環境」は、自然生態・社会文化・政治経済の連鎖構造と歴史変化を総合的・長期的な視点から読み解くこと、研究グループ2「南アジアにおける民主政治と国際関係」は、南アジア地域全体を視野に収めた民主政治の展開を考察し、さらに南アジアを中心とするグローバルな国際関係について研究を推進することを目的とします。

国立民族学博物館拠点 副中心拠点



拠点代表
三尾 稔

当拠点は、国際シンポジウムの主催や開催支援、事業全体の研究成果の英文叢書等での刊行の支援、国際学術交流協定関係の拡大、国際南アジア研究センター・コンソーシアムの構築など、拠点事業の国際化の推進を主な任務として副中心拠点としての役割を果たしてゆきます。

研究面では、インド・南アジア発の人や文化・価値の環流状況の解明や社会変化の中でも維持される南アジア的な社会結合の特性の解明を通じ、地域固有の社会的レジリエンスの特徴を抽出し、グローバル化の中で生ずる社会的リスクへの対応という問題解決に貢献します。

研究の成果は日本語や英語での論文集の出版、インターネットでの情報発信やデータベース公開などを中心に行いますが、民族学博物館の特性を生かし、映像を含めた資料の収集と展示のかたちでも展開します。また院生を含む文化人類学分野における次世代のインド研究者の養成にも取り組みます。

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科附属 現代インド研究センター

研究テーマ
南アジアの環境と政治

研究グループ
1 南アジアにおける人口・資源・環境
2 南アジアにおける民主政治と国際関係

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 総合研究 2号館別館
京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 現代インド研究センター
http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/kindas/

人間文化研究機構 国立民族学博物館 現代インド研究拠点

研究テーマ
南アジアの文化と社会

研究グループ
南アジアの文化と社会の動態の研究

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 現代インド研究拠点事務局
http://www.minpaku.ac.jp/nihu/mindas/

東京大学拠点



拠点代表
水島 司

当拠点は、インドの経済とそれに関わる歴史変動について基本的な文献資料を収集し、分析を進めるとともに、その成果を、先進的な研究を生み出している海外研究者を集めた国際会議を組織することによって海外に発信します。データベースを構築し、研究拠点を形成することにもめざします。

研究ユニットを一つとし、全構成員が「インドの経済発展と歴史変動」をテーマとする研究を行います。様々な角度からの分析により、経済発展の下で生じている社会変化を長期の歴史変動の中で考察し、ありべき社会経済の成長の方向を示すことをめざします。

また、これまで収集してきた史資料・地図データ群を学内で建設中のアジア図書館に配置するなど、事業終了後も利用できる環境を整え、恒久的な拠点となるよう努めます。

広島大学拠点



拠点代表
友澤 和夫

当拠点は、経済成長下の現代インド・南アジアにおける空間構造の変動と開発問題に関する研究を推進します。経済開発、資源開発、都市・農村の開発、社会開発などの各種の開発とその空間構造に注目し、その意義を見いだすと同時に、都市問題、環境問題など国土や地域あるいは社会の持続性にかかわる様々な開発問題の多様な実態の把握に努め、問題の本質を解明する研究を行います。

また南アジアに関する研究の蓄積や収集資料の集積は、広島大学総合地誌研究資料センター（1986年4月～2006年3月）および同現代インド研究センター（2010年4月～）の活動により、日本有数のレベルに達しています。これらの基盤の上に、国内外の研究者ネットワークのハブとして共同研究を組織しその成果を発信するとともに、本学の博士課程リーディングプログラムとも連携して若手研究者の育成に努め、南アジア地域研究のレベルを高めることをめざします。

東京外国語大学拠点



拠点代表
粟屋 利江

当拠点は、重層化・多元化・輻輳化する社会運動の歴史・政治・社会学的分析と文学分析を交叉・融合させ、かつジェンダー視角を軸として、現代南アジアの構造変動に関する理解を深めることを目的とします。運動の中で人々の紐帯はどのように築かれ、そして変化していくのか、文学は社会の変動といかに切り結ぶのか？本拠点は情動のレベルまでを射程にいれ、南アジアの構造変動に迫ることをめざします。その際、ウルドゥー語・ヒンディー語・ベンガル語など南アジア諸言語の教育と南アジア地域研究に関する明治期以来の歴史、国内有数の所蔵を誇る南アジア諸語文献・南アジア関連の文献・史料群、および海外の南アジア研究者との学術交流の伝統などの強みを生かした活動を推進します。

大学が所蔵する文献・史資料群をさらに充実させることを系統的に追及し、国内における文献拠点となることをめざします。さらに国内外の南アジア研究者のネットワークのハブとして共同研究を組織するとともに、若手研究者の育成を重点的に行い、南アジア地域研究のレベルを明示的に高めることに取り組みます。

龍谷大学拠点



拠点代表
高 満也

当拠点は、現代インド・南アジア地域の思想と価値、ならびに社会変容に関する研究を推進します。特に社会変容を代表的に表象する「下層民の台頭」に着目して、思想史との連関を念頭に、現地調査により、人びとの生活状況や意識、価値の変化についての研究を行うことを通じて、現代インド・南アジア社会における胎動の起点と推進力を解明します。

また本研究の国際化に留意し、南アジアのみならず、欧米およびアジア諸国の高等教育・研究機関との連携を図ります。蓄積された多彩な研究機関や運動組織との関係を活かし、拠点ネットワーク資料の収集・整理にも、質・量ともさらなる充実に貢献することをめざします。

東京大学大学院人文社会系研究科附属 次世代人文学開発センター 現代インド研究部門

研究テーマ
インドの経済発展と歴史変動

研究グループ
インドの経済発展と歴史変動

〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1 弥生総合研究棟4F416号室
東京大学拠点事務局 東京大学文学部水島研究室気付
http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~tindas/

広島大学現代インド研究センター

研究テーマ
南アジアの空間構造と開発問題

研究グループ
現代南アジアの空間構造と開発問題に関する基礎研究

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1
広島大学大学院教育学研究科K313 (K棟3階)
http://home.hiroshima-u.ac.jp/hindas/

東京外国語大学現代インド研究センター

研究テーマ
南アジアにおける文学・社会運動・ジェンダー

ユニット1 輻輳する社会運動における実践と理論：人的紐帯・情動を中心に
ユニット2 社会変動と文学

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学研究講義棟700号室 現代インド研究センター
http://www.tufs.ac.jp/ts/society/findas/

龍谷大学現代インド研究センター

研究テーマ
南アジアの思想と価値の基層的変化

研究グループ
南アジアの思想と価値の基層的変化

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
龍谷大学人間・科学・宗教総合研究センター 現代インド研究センター
http://rindas.ryukoku.ac.jp/